

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No.11 The company in Shirakawa

白河バープレジジョン(株)
SHIRAKAWA BAR PRECISION CO., LTD.

住所：東工業団地字南5
事業内容：油圧シリンダー用ピストンロッド両端加工品など

人を活かし、技術を極め
魅力ある商品で社会貢献を目指す



- ① 建設機械の部品となるピストンロッド両端加工品
- ② 社名には、棒状の金属（バー）を精密に（プレジジョン）加工したいという意味が込められています
- ③ 社員の皆さん（前列中央は工場長の矢内さん）。和気あいあいとした良い雰囲気職場です
- ④ 自動切断機は鋼材を自動で切断します
- ⑤ 工場には安全衛生掲示板を掲示し、安全第一の意識向上を図っています
- ⑥ 「仕事に地道に取り組む社員から、白河の人の真面目な気質を感じます」と話す社長の小木曾さん

「私たちの会社では、安全第一を心掛け、きれいな職場でより良い製品を作ることを目指し、社員間で意思疎通を図りながら、鋼材の加工に取り組んでいます」と話す工場長の矢内希男さん。

白河バープレジジョンは、小木曾工業(株)（愛知県名古屋）の子会社として、東工業団地に平成19年10月に創業しました。パワーショベルなどの建設機械に使われる油圧シリンダー用ピストンロッド両端加工品などを製造しています。

敷地面積は5,000㎡、建物面積は2,000㎡。月に1回行う安全衛生委員会では、社員の中から責任者を決め、工場長と2人で工場内のパトロールを行い、指摘か所を改善しながら安全第一に努めています。

また、品質向上を目標にしたQC（クオリティコントロール）活動を昨年9月からスタートしました。週に1回、3グループに分かれ、より良い製品を作るため、3S（整理・整頓・清潔）の徹底など、人づくりや業務の改善・改革に向けて取り組んでいます。

「人を活かし、技術を極め、信頼される企業体質を作る。魅力ある商品を提供し社会に貢献する」。この経営理念のもと、社員の幸せと、地域社会の発展に向けて、これからも努力していきます」と社長の小木曾知弘さんは優しく話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、1月18日から2月19日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

2月20日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 村尾祐美子 様
- 吉野秀朗 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(1月22日～2月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 天理教 北多摩西部支部 様
- 栃木ボランティアネットワーク 様
- とちぎYMCA 様
- (社)福島県エルピーガス協会 白河支部 様
- 被災地と埼玉をつなぐ会 様
- 県南生協保養プロジェクト 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、伝統行事「白河だるま市」の様子です。大勢の人でにぎわう本町通りをマイタウン白河の3階から撮影しました。

会場となった天神町・中町・本町の約1.5kmの目抜き通りには、約15万人が来場し、約700もの露店が並ぶ通りを楽しみながら、だるまを売る威勢の良い声に誘われ、福を買って求めています。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



https://www.facebook.com/city.shirakawa